

資料提供	
平成29年11月15日	
担当 (担当者)	文化政策課 (岡) 文化財課 (舟木)
電話	文化政策課 0857-26-7134 文化財課 0857-26-7523

平成29年度地域文化功労者文部科学大臣表彰について

このたび、平成29年度地域文化功労者文部科学大臣表彰被表彰者が決定しました。

記

1 被表彰者

分野	氏名	年齢	功績概要
芸術文化分野 (地域振興部推薦)	ふるいち よしじ 古市 義二	92歳	永年にわたり、彫刻家として優れた活動を行い、地域文化の振興に貢献している。
文化財分野 (教育委員会推薦)	ひおき おんどほぞんかい 日置はねそ音頭保存会	—	昭和48年設立以降、県指定無形民俗文化財「はねそ踊り」の保存と継承に尽力し、地域の文化財保護に貢献している。

2 表彰式

- (1) 期日 平成29年11月22日(水) 午前11時から正午まで
- (2) 会場 文部科学省 3階講堂(東京都千代田区霞ヶ関3丁目2番2号)
 ※表彰式の出欠(予定)
 古市 義二 . . . 欠席
 日置はねそ音頭保存会 . . . 欠席

3 表彰の概要

- (1) 趣 旨 芸術文化の振興、文化財の保護に尽力する等、地域文化の振興に功績のあった個人及び団体に対し、その功績をたたえるもの。
- (2) 表彰者 文部科学大臣

被表彰者の略歴及び主な功績

文化財分野：古市 義二（ふるいち よしじ）

大正14年生まれ。

木彫を彫刻家・村上炳人に学ぶ。鳥取県美術展覧会審査員を歴任し、平成14年には第17回国民文化祭・とっとり2002の彫刻部門の審査員も務める。

昭和55年全国公募展・二紀展に初入選し、以降毎年入選を果たす。平成18年には、第60回記念二紀展功労賞を受賞し、平成21年には会員に推挙された。また関西二紀展でも平成15年を皮切りに、同人賞4回受賞、平成24年には第59回関西二紀展最優秀賞を受賞する等、優秀な成績を残している。京都在住の6年間に学んだ原始美術（洞窟絵画、岩陰彫刻など）を作風に取り入れ、具象から抽象まで幅広い作品作りを現在に至るまで続けている。

文化財分野：日置（ひおき）はねそ保存会（ほぞんかい）

はねそ踊りは江戸時代から、因幡地方各地で伝承されてきた盆踊りである。「はねそ」とは「はねすそ」、即ち裾をはね上げて踊る様子から転じたものといわれている。日置のはねそ踊りは、鳥取市青谷町の日置谷の最も奥に位置する河原、山根の2地区に伝承された優雅な手踊りである。

保存会は、昭和49年の設立以来、今日に至るまで、当該無形民俗文化財の保存・伝承に努め、地域文化の振興に多大な貢献をしている。

毎年8月15日、16日に行われる盆踊りでは、地域の人たちの踊りをリードし、音頭言いや太鼓の叩き手を養成して、滞りなく行われるよう活動している。後継者育成の観点からは、会の設立以前から行っていた地域の子どもたちへの指導を引き継ぎ、現在まで指導を続けている。その成果は地元の中学校や小学校の運動会で披露されるなど、保存伝承に長きにわたり尽力している。

また、毎年地元鳥取市青谷町内で行われる文化まつりや敬老祭、上記の運動会など、本来の上演日時以外の機会にも出演して、普及啓発に努めている。

本県の文化財保護に果たした功績は極めて顕著であることから、平成12年に鳥取県教育委員会表彰、平成22年に伝統芸能功労団体賞知事表彰を受けている。